

神津島でのオウチュウの東京都初記録

桜井基計・渡部良樹

神津島でオウチュウ *Dicrurus macrocercus* が記録されたので報告します。

これは本土部・島嶼部を含む東京都内での初記録です。

観 察 者：清水末子・桜井基計

確認場所：神津島村字鷗穴

環 境：海岸沿いの断崖上のススキや灌木が茂る
開けた場所で、標高約100m。

観 察 日：2011年10月25日 午前10時ごろ

観察状況：本個体は清水末子氏により発見され、報告者の一人である桜井が観察・撮影しました。観察中、電線

から飛び立ってバッタを捕らえて、灌木の中へ降りました。また、バッタを食べるのに夢中で、10mくらいまで寄っても逃げない状況で、数分かけてバッタを食べたあと、ふたたび電線にとまりました。観察できたのはこの日だけでした。

写真から、この個体は、全身がほとんど黒色で、尾が長く、深い凹尾であること、嘴が太くて黒いこと、嘴の付け根に小さな白色斑があることなどが分かり、それらの特徴からオウチュウと同定しました。同様に全身が黒色で尾が長く凹尾であるカンムリオウチュウ *D. hottentottus* は、嘴がより強力で、成鳥では外側尾羽が強く巻きあがっていること、オウチュウカッコウ *Surniculus lugubris* は嘴が細く下にやや湾曲していること、などにより区別ができると思われます。なお、これらの類似他種には嘴の付け根に白色斑はありません。この個体は胸、下尾筒、上尾筒に白斑があるので、この年生まれの第一回冬羽と考えられます。

神津島は、2010年5月と6月に東京都初記録と2度目の記録であるアカアシチョウゲンボウ *Falco amurensis* が、報告者の一人である桜井により観察・撮影されており（ユリカモメ No.659:12-13に既報）、渡り鳥の中継地として注目される場所です。

第一発見者の清水末子氏と、ブログ上の本記録を報告者の一人である渡部に知らせてくださった天野洋祐氏に感謝します。



2011年10月25日に神津島で撮影したオウチュウ
(撮影：桜井基計)

◎ 東京都産鳥類目録2000・自治体編Ver.1の改訂作業

2009年に発行しました『東京都産鳥類目録2000・自治体編Ver. 1』は、長らく研究部HPで公開していましたが、その間いろいろ情報が寄せられましたので、改訂を進めています。こらからの改訂作業について、下記の要領で集まりを持ちます。新しく東京都産鳥類目録に興味のある方もご参加ください。

日 時：2012年3月9日（金）午後6時30分開場、7時～9時

会 場：日本野鳥の会東京・事務所〔新宿区新宿5-18-16 新宿伊藤ビル3階 地下鉄新宿三丁目または東新宿駅から徒歩約5分、JR新宿駅から約10分、新宿花園神社近く・明治通り沿い。近くまで来て迷ったら、電話（03-5273-5141）をください。〕

参加費：無料、会員でない方も参加できます。